

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第6区分

【発行日】平成29年1月26日(2017.1.26)

【公表番号】特表2016-508100(P2016-508100A)

【公表日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-016

【出願番号】特願2015-550421(P2015-550421)

【国際特許分類】

B 6 5 D 81/32 (2006.01)

B 0 5 B 11/04 (2006.01)

B 6 5 D 47/06 (2006.01)

B 6 5 D 47/20 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/32 U

B 0 5 B 11/04 A

B 0 5 B 11/04 F

B 0 5 B 11/04 G

B 0 5 B 11/04 M

B 6 5 D 47/06 C

B 6 5 D 47/20 W

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月6日(2016.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

吐出前に第1液体と第2液体とを分離する容器であって、

前記第1液体を含み、第1本体通路開口部を有する第1封入本体と、

前記第2液体を含み、第2本体通路開口部を有する第2封入本体であって、前記第2本体通路開口部は前記第1本体通路開口部と隣接する第2封入本体と、

前記第1および第2本体のうちの少なくとも1つに固定された共有キャップであって、第1吐出チャネルと第2吐出チャネルとを有し、これらのチャネルの各々が開放端部と吐出孔を持つ端部とを有する共有キャップと、

前記第1および第2本体の前記通路開口部と前記共有キャップとの間に位置するインサートであって、前記第1本体通路開口部と流体連結する上流入口と前記第1吐出チャネルと流体連結する下流出口とを有する第1吐出経路と、前記第2本体通路開口部と流体連結する上流入口と前記第2吐出チャネルと流体連結する下流出口とを有する第2吐出経路とを画定し、前記上流入口の各々が前記吐出チャネルからオフセットしているインサートとを備える容器。

【請求項2】

請求項1に記載の容器において、前記第1および第2吐出チャネルは、前記第1および第2本体通路開口部の中心軸よりも近接する中心軸を有する容器。

【請求項3】

請求項1に記載の容器において、前記第1および第2本体通路開口部の各々は前記第1および第2吐出チャネルの各々の最大断面積よりも大きな最大断面積を有する容器。

**【請求項 4】**

請求項 1 に記載の容器において、前記共有キャップは開位置および閉位置を有する蓋を含み、該蓋が閉位置にある場合、該蓋は前記吐出孔の各々を覆うように構成された容器。

**【請求項 5】**

請求項 1 に記載の容器において、前記共有キャップは上壁と該上壁から延在する隆起した噴出口とを含み、該噴出口が 2 つの吐出孔を含む容器。

**【請求項 6】**

請求項 5 に記載の容器において、前記噴出口は前記第 1 および第 2 吐出チャネルを分離する壁を含む容器。

**【請求項 7】**

請求項 5 に記載の容器において、前記それぞれの下流出口から流れる前記第 1 および第 2 液体を、互いに向き合うように向け直し、第 1 および第 2 吐出チャネルにそれぞれ流入するように構成された、第 1 デフレクタおよび第 2 デフレクタをさらに備える容器。

**【請求項 8】**

請求項 7 に記載の容器において、前記第 1 および第 2 デフレクタの各々は前記それぞれの下流出口から流れる前記第 1 および第 2 液体を、前記第 1 および第 2 吐出チャネルを分離する前記壁の方向に向け直す容器。

**【請求項 9】**

請求項 8 に記載の容器において、前記第 1 および第 2 デフレクタの各々の少なくとも一部は、前記第 1 および第 2 吐出経路のそれぞれの下流出口を覆う容器。

**【請求項 10】**

請求項 1 に記載の容器において、前記第 1 および第 2 本体の前記通路開口部と前記インサートとの間に位置するガスケットをさらに備える容器。

**【請求項 11】**

請求項 1 に記載の容器において、前記第 1 封入本体および前記第 2 封入本体は前記容器内に並んで位置する容器。

**【請求項 12】**

請求項 1 に記載の容器において、前記第 1 封入本体および前記第 2 封入本体は、前記第 1 封入本体を前記第 2 封入本体から分離するように構成された共有壁を共有する容器。

**【請求項 13】**

請求項 1 に記載の容器において、前記第 1 封入本体および前記第 2 封入本体は、一体のプロー成形または射出成形構造である容器。

**【請求項 14】**

第 1 液体および第 2 液体を請求項 1 に記載の容器から吐出する方法であって、前記第 1 封入本体の内部容積を減少させて前記第 1 液体の少なくとも一部を前記第 1 封入本体から出して、前記第 1 吐出チャネルの前記吐出孔から第 1 液体噴射で排出するステップと、

前記第 2 封入本体の内部容積をほぼ同時に減少させて前記第 2 液体の少なくとも一部を前記第 2 封入本体から出して、前記第 2 吐出チャネルの前記吐出孔から第 2 液体噴射で排出するステップとを含む方法。